

広報ほんべつ

本割

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2021

September
No.1115

9月

表紙

ほんべつジュニア体験活動「親子登山」
(関連記事：17ページ)



Pick up

- ✿ 広報で振り返るこの10年
- ✿ 認知症について知る ~本人の意思を大切にするまちづくり~
- ✿ 老人福祉センター浴室が移転リニューアルオープン

平成23(2011)年



②



③



④



①

- ② ● 東日本大震災被災地宮城県南三陸町へ町職員派遣 (3月)
- チャレンジデー2011に初参加 (5月)
- ③ ● OCTVほんべつエリア開局 (6月)
- 開町110年記念式典開催 (9月)
- ④ ● 全町民対象の防災総合訓練実施 (10月)
- ① ● 開町110年・姉妹提携20周年記念 姉妹都市オーストラリアミッチェル市答礼訪問・町民ツアー実施 (11月)
- 新町ハウス8完成 (11月)

平成24(2012)年



①

- ② ● 美里別へき地保育所閉所 (3月)
- ① ● 農産物ものづくり館「ゲンキッチン」オープン (4月)
- 美里別地区私設消防団解散 (4月)
- ③ ● ラッピングされたスクールバスが登場 (8月)
- ④ ● 開町111年にちなみ日本一長い全長111メートルのピザづくり。当時、日本一のピザに認定 (9月)



②



③



④



広報で振り返る10年

〜写真で振り返り、さらなる飛躍を目指して〜

本別町第6次総合計画のもとまちづくりがスタートし、開町110年の記念式典を盛大に開催した平成23年。あれから10年。

この間、町ではさまざまな出来事がありました。この間、町ではさまざまな出来事がありました。しかし、町民の皆さんの支えにより、開町120年を迎えることができました。今回は、この10年を町広報紙の記事から振り返り、また一歩、新たなステージへ向けて本町のさらなる飛躍を目指していきます。



平成27(2015)年



②



③



④



①

- ほんべつフリーライフが地域食堂まんてんをオープン (1月)
- ①●第1回ほんべつ豆まかナイト開催 (1月)
- ②●ひまわり基金法律事務所開設 (5月)
- ③●太陽の丘野球場オープン (7月)
- ④●義経の里スポーツフェスティバルと北海道・十勝トレイルランニング in Honbetsu が本別公園で同時開催 (10月)

平成25(2013)年



②



③



④



①

- ②●白糠町と包括連携協定を締結 (3月)
- OCTV市街地北地区サービス開始 (5月)
- ①●第1回ほんべつ肉まつり開催 (8月)
- ③●太陽の丘などにメガソーラー発電施設建設 (11月)
- ④●企業誘致により双日北海道吉本本別工場が操業開始 (12月)

平成28(2016)年



①



②



③



④

- ①●姉妹都市連携25年を記念してミッチェル訪問団が来町、ウェルカムパーティーを実施 (2月)
- ②●消防署が十勝をひとつに統合、とちか広域消防局としてスタート (4月)
- ③●4つの台風が北海道に上陸・接近。町内施設が甚大な被害を受ける (8月)
- ④●本別きらめきタウンフェスティバル、20回のメモリアル開催 (9月)
- 銀河の里ツリーフェスティバル2016が十勝で初めて本別で開催 (10月)

平成26(2014)年



①



②



③



④

- ②●仙美里中学校閉校 (3月)
- ③●新学校給食共同調理場竣工 (4月)
- ④●子ども未来課新設 (4月)
- ①●日本ハムファイターズ野球教室を教育委員会主催で開催 (8月)
- 姉妹都市オーストラリア・ミッチェル訪問団来町。ウェルカムパーティー開催 (9月)
- 本別町高齢者等住まい・生活支援検討委員会を発足 (11月)

令和元（2019）年



②



③



④



①

- ② ● しごと体験交流館が旧南保育所（南4丁目）を部分改修してオープン（4月）
- ③ ● 新しいごみの分別回収が始まる（4月）
- ① ● 本別・仙美里地区（小・中学校）コミュニティ・スクール導入、町内すべての小中学校で地域ぐるみの学校づくりや人材育成に向けた取り組みが始まる（4月）
- ④ ● 町国保病院の開院70年、太陽の丘に移転してから20年を記念して、「元気の処方フェスティバル」を開催（9月）

平成29（2017）年



②



③



④



①

- ② ● 中央保育所、南保育所閉所。本別カトリック幼稚園閉園（3月）
- ① ● 認定こども園ほんべつ（学校法人鉦路カトリック学園）がオープン（4月）
- ③ ● 本別消防団が創立100周年記念式典を開催（6月）
- ④ ● 交通安全母の会40周年記念事業、本別町交通安全住民大会および道警音楽隊パレード・演奏会を開催（6月）

令和2（2020）年



①



②



③



④

- ② ● 十勝管内初の新型コロナウイルス感染症の感染者の発生により、本別町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置（2月）
- ③ ● 仙美里へき地保育所閉所（3月）
- ④ ● 新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、国は緊急事態宣言を全都道府県に発令。学校の臨時休業や庁内公共施設を休館するなどの措置をとる（4月）
- ① ● 緊急事態宣言の解除に伴い、分散登校し、学校活動を再開（5月）

平成30（2018）年



①



②



③



④

- 子育て世代包括支援センターを町健康管理センター内に設置（4月）
- ① ● 勇足地区（小・中学校）コミュニティ・スクールを導入（4月）
- ② ● 本別公園「義経の館」で飲食サービス開始（4月）
- ③ ● 北海道胆振東部地震が発生。全道的な大規模停電に見舞われ、町民の日常生活に大きな影響を及ぼす（9月）
- ④ ● 本別町国民健康保険病院内に地域連携室を開設（10月）

認知症について知る

～ 本人の意思を大切にすることをまちづくり ～

認知症は年をとれば誰にでも起こる可能性がある病気です。しかし、認知症についての誤解や知識不足から、本人も周囲の人もつらい思いをしていることが少なくありません。

現在、全国の認知症支援の現場では、しきりに「本人の話を聞く」「本人の意見を大切にしよう」ということを意識しています。本別町でも、本人を中心に支援をしてきた「つもり」でも、本当にそうだったのか？を再度考え直しています。本来の「本人中心」とはどのようなことかを検討し、お互いが安心して生活できる社会づくりを目指しています。



世界アルツハイマーデーを知っていますか？

9月21日は世界アルツハイマーデーに制定されています。これは、平成6年9月21日、スコットランドのエンジンバラで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開かれたことから、「世界アルツハイマーデー」と制定されました。本別町でも「アルツハイマーデー」に合わせて、認知症を知っていただくために町広報紙で周知することになりました。



認知症サポーターキャラバン

認知症の人の声を聴くことが大切

介護保険制度が開始されてから、認知症の人への支援や介護は全国的に進み、本別町ではボランティア活動も盛んに実施されてきました。しかし、「認知症になったら、介護サービスを受けるもの」「地域では暮らせない」「普通の人とは違う」と思っている人も多いのではないのでしょうか？実は専門職でもそう思っていました。確かに、介護サービスでのお手伝いが必要になることがあったり、一人暮らしが難しくなることがあります。しかし、認知症になっても、自分の意見をしっかりと持っています。

認知症になっても、その人の意見を聞くことが難しくなると思われがちですが、決してそんなことはありません。もし、自分の家族が認知症になったときや、ご近所さん、友人、親戚に認知症の人がいたら、きちんと本人の気持ちや意見を聞いてみてください。認知症であっても、ちゃんと自分の意志を伝えることができます。



認知症の人の話し相手ボランティア（やすらぎ支援事業）を紹介

介護家族に代わって認知症の人を見守るやすらぎ支援事業は、介護保険サービスで対応できない部分の見守りや話し相手、趣味活動など多彩なニーズに対応しており、研修を受講した支援員（有償ボランティア）が支援を行っています。

令和2年度は、当事者12人を対象に196回の訪問支援を実施しています。

この事業は、年々ニーズが高まっていますが、新たな担い手の確保ができない状態が続いています。はじめて訪問する時は、緊張していたり、何を話して良いのかわからないため、ベテランの支援員も同行訪問するなどのサポートをしています。

もし、自分も支援員になってみようかと思っている人がいましたら、ぜひ一度、町社会福祉協議会へご連絡ください。

やすらぎ支援員が、話し相手などの目的で自宅を訪問している様子です。最初は戸惑っていた利用者さんでもだんだんと慣れてきて笑顔になっていきます。支援員の訪問を心待ちにしている利用者さんが多いです。



【やすらぎ支援員になりたい人の申し込み先】
社会福祉協議会
あんしんサポートセンター
☎ 22-8320

【やすらぎ支援を受けたい人の申し込み先】
総合ケアセンター内
地域包括支援センター
☎ 22-9222

★認知症ケアパス改訂版について

認知症ケアパスとは、認知症の症状や、相談先、診断や治療、対応の仕方などをまとめている冊子です。本別町では平成28年に認知症ケアパスを発行し、全戸配布していますが、情報が変わってきたことや、さらに皆さんに分かりやすい内容にするため、2021年度改訂版を作成しました。

今後、本別町ホームページなどにも載せていきますので、ぜひご活用ください。

問い合わせ 総合ケアセンター内 地域包括支援センター ☎ 22-9222

★認知症の人の声★

本別の人ではありませんが、認知症と診断された人の言葉です

Aさん

「認知症になってから自分の好きなギターや山登り、色々なことにチャレンジしている。支えがあれば“あきらめること”より“やれること”の方が多くなる」

Bさん

「認知症って皆さんまだ良く分かってないんですね。人によっては腫れ物に触られるようにね、そんな扱いをしている方もおられたよ。でもそれでこちらの神経に障るってこともないし、なんでそんなに気を遣っているのかなって、全然考えに及らなかつたですよ。」

認知症の人のことをよく見てみますか？

皆さんは「アルツハイマー」「認知症」と聞いて、どのような人か想像できるでしょうか？物忘れのひどい人？何も分からなくなってしまう人？一人では暮らせないひと……。認知症は特別な病気ではありません。確かに、何度も同じことを言ったり、忘れてしまったことがあるかもしれませんが、認知症になったからといって、別人になるわけではありません。ずっと本別町で暮らしてきた「○○さん」に認知症の症状が加わるだけです。何も特別なことはありません。少しお手伝いがあれば、見守りがあれば、以前と同じように暮らしていることができます。

新型コロナワクチンの接種方法の変更のお知らせ

新型コロナワクチンについて、5月10日から接種を開始し、皆様のご協力により順調に進んでいます。

現在、町総合ケアセンターで行っている集団接種は9月16日に終了し、その後は、町国保病院において10月4日から個別接種による実施に変更となります。個別接種についての詳しい日程や予約方法については、9月15日号くらしの情報紙「かけはし」の折り込みチラシをご覧ください。

現在実施中の新型コロナワクチンの集団接種では、対象者の8割程度が接種を終える見込みとなっています。



● ワクチン接種の実施状況

8月20日現在

	全体 (対象者接種率)	高齢者 (対象者接種率)	一般 (対象者接種率)
1回目	4,872人 (78.99%)	2,462人 (87.55%)	2,410人 (71.81%)
2回目	3,655人 (59.26%)	2,411人 (85.74%)	1,244人 (37.07%)

※7月末接種対象者 6,168人 (うち高齢者 2,812人、一般 3,356人)
8月20日現在の接種予約者数は 4,880人 (79.12%) です

★ 感染予防対策の継続のお願い

ワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防するもので、ウイルスに感染しなくなるわけではありません。ワクチンを受けた後も引き続きマスク着用などの感染予防対策を継続しましょう。



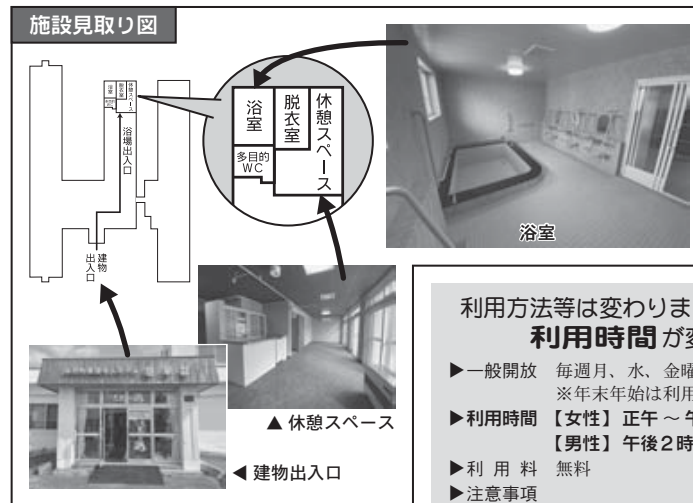
問い合わせ

本別町新型コロナウイルス感染症対策本部
事務局：本別町健康管理センター ☎ 22-2219



老人福祉センターの浴室が 9月1日から移転リニューアルオープン

高齢者の健康や福祉の増進を図ることを目的として開放している老人福祉センターの浴室が、旧養護老人ホーム(向陽町)に移転し、9月1日(水)からリニューアルオープンします(老人福祉センターの浴室は8月30日(月)まで)。
リニューアルされた浴室もこれまで同様、高齢者を対象とした施設のため、原則60歳以上の人の利用となりますが、特段の事情により利用を希望する場合は、下記までご相談ください。
また、町民を対象とした施設であるため、本別町に住所を有しない人は利用できませんので、ご了承ください。



利用方法等は変わりませんが、**利用時間**が変更となります

- ▶ 一般開放 毎週月、水、金曜日(祝日も利用可)
※年末年始は利用できません
- ▶ 利用時間 【女性】 正午～午後2時15分
【男性】 午後2時15分～午後4時
- ▶ 利用料 無料
- ▶ 注意事項
 - ① シャンプー、リンス、石鹸、タオルなどの入浴道具は持参してください
 - ② 髪染めは禁止です
 - ③ 持ち物の盗難・紛失には責任を負いませんので、貴重品は持参しないでください

問い合わせ

総合ケアセンター 高齢者福祉担当
☎ 22-8520

七夕まつり中止、 家族で花火を

7/20

町地域子ども会育成連絡協議会（久能利幸会長）が7月20日、町内の園児・児童380人に手持ち花火のセットをプレゼントしました。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年8月に開催している「ほんべつ子ども七夕まつり」が昨年に続き中止になってしまったことから、代わりに子供たちの夏の思い出となるよう企画。この日は、久能会長が認定こども園ほんべつを訪れ、園児の前で代表の4人に手持ち花火のセットを手渡しました。久能会長は「今年も七夕まつりが中止になってしまったが、家族で花火を楽しんでください」と呼び掛けました。



全力で競技に挑む

7/20

本別中学校（都鳥秀史校長・115人）の体育祭が7月20日、同校グラウンドで開かれました。例年は5月末の休日に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりこの日に順延、平日開催とし、競技日程も縮小するなど感染対策を徹底しながらの実施となりました。生徒たちは、「Keep it up 〜がむしゃらに駆け抜けろ〜」の体育祭スローガンの下、個人や団体の6種目のクラス対抗戦で争い、最後まで諦めず一致団結し全力で競技に取り組みました。



山田さんが 全道出場を報告

7/16

十勝予選を突破し、7月27、28日に帯広市で開催される陸上競技の全道中学校体育大会に女子100メートル障害で出場する山田咲花さん（勇足中3年）が7月16日、教育委員会を訪れ、阿部秀幸教育次長に全道大会出場を報告しました。山田さんは「目標は優勝と全国大会出場標準記録の14秒80を切ること」と力強く抱負を語り、阿部教育次長は「肩の力を抜いて、普段通りの力を発揮できるように頑張ってください」と激励しました。



全道大会の結果

予選で15秒71を記録し決勝進出。決勝では惜しくも入賞は果たせませんでした。予選を上回る15秒53を記録しました。

水上レクに夢中

7/17

町教育委員会主催のほんべつジュニア体験活動「水上レクリエーション」が7月17日、町民水泳プールで開催されました。この日は、町内の保育園児から小学5年生までの29人が参加。参加者たちは、3チームに分かれて水中綱引きや水中玉入れ、プールに浮かぶ発泡スチロールの板の上を駆け抜ける浮島渡りリレーなどのゲームに挑戦し、普段はできないプールでの遊びを夢中になって楽しみました。



学校教育目標

「人間性豊かな子」

- ☆ しっかり考え よく学ぶ子
- ☆ 思いやりがあり よく励む子
- ☆ 明るく たくましい子

仙美里小学校は、今年度で開校120周年という記念すべき節目を迎えます。PTAや地域の皆さんの力強いご支援を受けながら、「子どもが輝く『活力ある学校』」の実現に向けて、日々の教育活動に取り組んでいます。



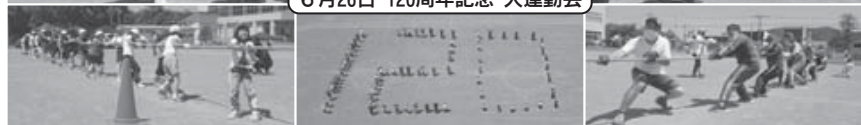
4月8日 入学式



6月10日 JA青年部との農園活動



6月26日 120周年記念 大運動会



各学校の手作りページ

HELLO

仙美里小学校

校長：松下 政博 児童数：22人
教員数：10人 PTA戸数：17戸

7月8日
野外体験活動



本別高校生が選挙を体験 7/21

町選挙管理委員会（小林信雄委員長）が7月21日、本別高校（松田素寛校長）の生徒を対象にした選挙啓発高校生出前講座を町体育館で開催しました。これは、選挙に関心を持つとともに選挙事務の内容などを知ってもらうことを目的として実施されたもので、3年生33人が社会科の授業の一環で受講しました。初めに町選挙の職員が、選挙の種類や投票の方法、インターネットによる選挙運動などについて説明。次に模擬選挙が行われ、生徒たちは候補者役の町職員2人の選挙公約を聞き、投票する人を選んで投票用紙に書き込んだ後、投票箱に入れました。その後には開票作業も行い、投票の従事者役を生徒が務めたことで、より選挙の仕組みに対する理解が深まりました。



本別でもオリンピック 7/22

ほんべつスポーツボランティア（中島由昌チーフ）主催の「ほんべつ親子運動オリンピック」が7月22日、球技場で開催されました。これは、運動を通して親子のスキンシップを図るとともに日ごろの運動不足解消を目的として、東京五輪の開会式が開かれるスポーツの日に先立って開催されたもので、町内外の3歳から小学3年生までの子どもと保護者20組45人が参加。開会式では、中島チーフが「子どもとスポーツを通して触れ合い、成長を感じてもらえたら」とあいさつ。参加者は、親子でスキンシップを取りながらのストレッチやサッカーボールを使った遊びなど、多彩なプログラムを楽しみながら体を動かしました。



大塚製薬と健康づくりなどの協定締結 7/21

町と大塚製薬株式会社札幌支店との健康づくりの推進や食育支援、防災・災害対策などに関する包括連携協定を結ぶ締結式が7月21日、役場で開かれました。これは、同社が健康の維持・増進活動などの知見やノウハウを生かし、熱中症やフレイル（虚弱状態）などの予防講座への協力、食育支援、災害支援などを行っていくためのもの。締結式は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のためビデオ会議システム（Zóóm）を使い、役場にいる高橋正夫町長と札幌の同社ニュートラシューティカルズ事業部札幌支店の今井慎也支店長が、オンラインでそれぞれ協定書に調印しました。



それぞれ協定書に調印しました。

上田さんと塚林さんが全国出場を報告 7/26

道予選で優勝し、7月31日から愛媛県で開催されるNPB（日本野球機構）ガールズトーナメント2021全日本大会に出場する女子学童軟式野球チーム「とかちスマイルレインボー」の選手である上田志保さん（勇足小6年）と塚林みなみさん（仙美里小5年）が7月26日、役場を訪れ、高橋正夫町長に全国大会出場を報告しました。上田さんは「応援してくれる人に感謝して勝てるよう頑張ります」塚林さんは「帰ってきて良い報告ができるよう頑張ります」とそれぞれ抱負を語り、高橋町長は「報告を楽しみに待っています」と激励しました。



全国大会の結果
初戦で三重県代表に7-3で勝利。次戦では岡山代表に惜しくも敗れましたが、全国ベスト16に輝きました。

陸上少年団が全道出場を報告 7/29

十勝の予選を突破し、8月15日に函館市で開催される第39回北海道小学生陸上競技会に出場する本別陸上少年団の団員7人が7月29日、教育委員会を訪れ、阿部秀幸教育次長に全道大会出場を報告しました。7人はそれぞれ「十勝大会での記録を超える」「全道でベスト8に入る」などと抱負を語り、阿部教育次長は「練習の成果を発揮し、頑張ってください」と激励しました。



全道大会の結果
惜しくも全道大会の出場権を得ることはできませんでしたが、それぞれ健闘しました。

女性消防団員から救命方法を学ぶ 8/2

子育て支援センターほんべつが主催する子育てママのためのリフレッシュ講座「救命救急講座」が8月2日、同センターで行われました。この日は、本別消防団（伊藤英昭団長）の女性消防団員4人と本別消防署員2人が講師となり、乳幼児や小児に対する心肺蘇生法として胸骨圧迫や人工呼吸の仕方、AEDの使用などについて説明。参加した7人のママは、人形を用いて心肺蘇生法を実際に練習し、講師のアドバイスを受けながら、いざというときのための救命方法を学びました。



国民年金

その233

老齢基礎年金の受給開始時期を調整できます
『繰り上げ受給』と『繰り下げ受給』

老齢基礎年金は、原則65歳から受け取ることができ、希望すれば60歳から65歳までの間に受け取る「繰り上げ受給」、または65歳〜70歳までの間に受け取る「繰り下げ受給」の請求をすることができます。



繰り上げ受給
60歳から65歳になるまでの間に請求して、65歳到達前に老齢基礎年金を受け取る事ができます。
※請求する際の注意事項
・受け取れる年金額は、受給を1カ月早めるごとに0.5%減額され、その減額率は一生変わりません
・特別支給の老齢厚生年金の定額部分の一部が65歳になるまで支給停止になります
・遺族厚生年金を受けている人は65歳になるまではどちらか一方の年金しか受けられません
・繰り下げ請求後に病气やけがが原因で障がいが残っても障害基礎年金を請求することはできません

・寡婦年金が受けられなくなります
・国民年金に任意加入や追納はできなくなります
・一度請求すると取り消しはできません
繰り下げ受給
66歳から70歳になるまでの間に請求して、老齢基礎年金を受け取ることができます。
※請求する際の注意事項
・受け取れる年金額は、受給を1カ月遅らせるごとに0.7%増額され、その増額率は一生変わりません
・66歳到達後の繰り下げ待機中に他の年金の受給権が発生した場合（遺族年金など）、その時点で増額率が固定されます

60歳・65歳・70歳に老齢基礎年金を請求した場合の年金額の比較

	受給額 (令和3年度の満額)	85歳までの受給額と②との差額
①60歳からの繰り上げ請求	546,630円 (780,900円×70%)	13,665,750円 約195万円 少ない
②65歳からの通常受給	780,900円	15,618,000円
③70歳からの繰り下げ請求	1,108,878円 (780,900円×142%)	16,633,170円 約100万円 多い

帯広年金事務所
 TEL 015-52-8113
 詳細は
 住民課 可 繰り上げ受給 担当 山内 先生
 011-281-280
 日本年金機構のホームページは
<https://www.nenkin.go.jp/>

みんなの健康

445

フレイルとは、健康な状態と介護が必要な状態の間の「虚弱状態」のことです。フレイルの状態になってしまっても、適切な取り組みを行うことで健康な状態に戻ることがあります。

フレイルのリスクは フレイル予防と食事

の両方で高くなります。痩せては筋肉量減少や筋力低下から、肥満では高血圧・糖尿病・脂質異常症等の生活習慣病の重症化による動脈硬化からフレイルになりやすい状態になります。BMI(体格指数)は体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で簡単に計算でき、BMI18・5未満が痩せ、BMI25以上が肥満とされており、標準体重を維持することが大切です。摂取量と消費量のバランスを保つことができているか定期的な体重測定と年1回の健康診断で自分の状態を確認しましょう。



健康管理センター
管理栄養士
新津 佐知子

ある主菜を取り入れてしっかりと摂取することが大切です。自分の体の状態を確認し、状態に合わせた食事を心がけ、おいしく食べることがフレイル予防につながります。健康管理センターでは毎週金曜日の午前中に健康相談を実施しています。お気軽にご相談ください。

の基本は主食(米、パン、麺)＋主菜(肉、魚、卵、大豆製品)＋副菜(野菜、きのこ、海藻、こんにゃく)の揃ったバランス食です。1日の中で牛乳・乳製品や果物もなるべく不足しがちなカルシウムやビタミンを補給できます。野菜の摂取量は1日350gを目標に、特に肥満の場合には生活習慣病の予防・改善に効果のある食物繊維が多い副菜をしっかりと摂取することが大切です。また、高齢者や痩せの場合はたんぱく質の不足に注意が必要です。特に高齢になると摂取したたんぱく質を体の中で筋肉に作りかえる力が低下するた

未来に輝く子どもたち



北8丁目
松井 希空
(香取県)

本町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つてね！

名前の由来
未来に希望をもって自由に羽ばたいてほしい

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています



ぎんがのタイム

親子で一緒に雌阿寒岳登頂！

8/7

町教育委員会主催のほんべつジュニア体験活動「親子登山」が8月7日、足寄町の雌阿寒岳で行われました。この活動は、親子で一緒に山を登り、十勝の大自然に触れて自然の良さを学ぶことを目的に実施したもので、6組12人の親子が参加。当日はとても暑い中での登山になりましたが、親子で汗を流しながら協力し、長く険しい登山道を登頂することができました。



まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

ご寄付ありがとうございます

令和3年7月16日から8月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上に厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町特別養護老人ホーム指定
スイカ 6玉
…………… 本別中央自治会連合会 会長 北谷 和雄
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計 金 8,572,500円 …………… 244人

銀河ホップアップインジ

足寄町

足寄のフルーツサンド

足寄産のイチゴと、高橋菓子店の大人気食パンがコラボしたフルーツサンドは、クリーム程よい甘みとイチゴの酸味、食パンの香りがよく合うスイーツ好きにはたまらない一品です。



陸別町

りくべつ鉄道乗車 キャンペーン実施中

りくべつ鉄道では、毎月26日に素敵な景品が抽選で当たる「りくべつ鉄道乗車キャンペーン」(陸別町観光協会主催)を10月24日まで実施しています。
期間中、気動車の乗車・運転体験(毎月第2・第4の土・日曜日運行)、トロッコ乗車体験(毎週土・日曜日運行)を利用された人に、抽選券と牛乳無料引換券をお渡ししていますので、皆さんのご乗場をお待ちしております。
お問い合わせ りくべつ鉄道 ☎271-2244



本のある暮らし

246

戸籍のまど

お誕生

7月後半から
8月前半の
届出分

樋口 湊^{みなせ} 星^{ちか} 祐馬^{すけま} 真由美^{まゆみ} 7/18 仙美里元町

ご結婚

(棚原 樹 夢^{きゆむ} 柏木 町
町田 絵 美^{えみ} 北5丁目

おくやみ

高橋キクエ^{きくえ}さん 95歳 7/17 勇足東4
齊藤 明^{あき}さん 84歳 7/27 新 町
加藤 繁^{しげ}さん 82歳 7/30 仙美里1
小島 歌子^{かこ}さん 92歳 8/3 南2丁目
西村 洋吉^{ひろし}さん 82歳 8/11 北4丁目
七田 章^{あきら}さん 79歳 8/13 北5丁目
多賀エイ子^{えいこ}さん 93歳 8/14 北3丁目


わたしたちのまち

前月比
人口 **6,597人(-18)**
男 **3,240人(-13)**
女 **3,357人(-5)**
世帯数 **3,561戸(-3)**
〔7月末日住民基本台帳〕

開町120年 町のあゆみを知るために

洞寒（しほさむ／現・池田町）外13カ村から分離独立して本別外5カ村戸長役場ができた1902（明治35）年9月15日は、本別町の開町記念日。2021年で120年を迎えます。そこで今回は、石器時代からの歴史をつづった『本別町史』シリーズ5冊を紹介します。

図書館の郷土資料もインターネットで探せます。図書検索システムで、書名や著者名に「本別」と入力して検索してみてください



QRコードはこちら



- 〔写真左から〕
- 本別町五十年史（昭和28年10月）**
開基50年を記念して発行。古めかしい文体で書かれ、布表紙には特産品の亜麻が使われました。
 - 本別町史（昭和52年3月）**
五十年史を基調にして開基70年に発行。七十年史とも呼ばれる本町行政史の基本書です。
 - 追補本別町史（平成4年3月）**
七十年史以後の20年をまとめ、開基90年に発行。「碑」の章が設けられています。
 - 本別町生活文化誌～開町100年を記念して～（平成14年6月）**
行政史とは異なる視点で編集。開拓期からの家族や産業の移り変わりなど、聞き取りを重視した内容です。
 - 追補本別町史 第二巻（平成24年10月）**
平成3年以後の町の足跡をまとめ、開町110年に発行。巻頭のカラー写真が充実しています。

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称：ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112